

(様式第 10)

浜医大医第 4 号
平成 28 年 9 月 27 日

東海北陸厚生局長 殿

国立大学法人浜松医科大学
開設者名 (印)
学長 今野弘之

浜松医科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号
氏 名	国立大学法人 浜松医科大学 学長 今野弘之

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

浜松医科大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号	電話(053) 435 - 2111
--------------------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科							<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等							
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
診療実績							

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科							<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名							
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
診療実績							

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="radio"/> 1精神科	<input checked="" type="radio"/> 2小児科	<input checked="" type="radio"/> 3整形外科	<input checked="" type="radio"/> 4脳神経外科	<input checked="" type="radio"/> 5皮膚科	<input checked="" type="radio"/> 6泌尿器科	7産婦人科
<input checked="" type="radio"/> 8産科	<input checked="" type="radio"/> 9婦人科	<input checked="" type="radio"/> 10眼科	<input checked="" type="radio"/> 11耳鼻咽喉科	<input checked="" type="radio"/> 12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科		<input checked="" type="radio"/> 15麻酔科	<input checked="" type="radio"/> 16救急科			

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科							<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名							
1	2	3	4	5	6	7	
1 歯科口腔外科							
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 循環器科	2 神経科	3 心臓血管外科	4 リハビリテーション科	5 形成外科
6 病理診断科	7 小児外科			

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
37床	床	床	床	576床	613床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年9月1日現在)

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	343人	97人	375人	看護補助者	50人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	11人	2人	11人	理学療法士	13人	臨床検査技師	60人
薬剤師	43人	0人	43人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	32人	2人	33人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	566人	37人	591人	臨床工学士	14人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	2人	1人	3人	栄養士	0人	その他の技術員	66人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯科技工士	0人	事務職員	132人
管理栄養士	9人	3人	11人	診療放射線技師	34人	その他の職員	17人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年9月1日現在)

専門医名	人数	専門医名	人数
総合内科専門医	30人	眼科専門医	8人
外科専門医	43人	耳鼻咽喉科専門医	12人
精神科専門医	8人	放射線科専門医	13人
小児科専門医	18人	脳神経外科専門医	9人
皮膚科専門医	8人	整形外科専門医	17人
泌尿器科専門医	7人	麻酔科専門医	23人
産婦人科専門医	17人	救急科専門医	2人
		合計	215人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (松山幸弘) 任命年月日 平成28年4月1日

平成26年4月1日から平成28年3月31日まで、医療安全管理室長として従事していた。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	491.5人	7.3人	498.8人
1日当たり平均外来患者数	1,221.1人	49.4人	1,270.6人
1日当たり平均調剤数	入院 656	外来 38	剤
必要医師数			123人
必要歯科医師数			3人
必要薬剤師数			17人
必要(准)看護師数			298人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	254.2 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート	病床数	12床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 台数	316.5m ² 台	病床数	24床	
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 共用する室名	21m ²			
化学検査室	413.17m ²		(主な設備) 生化学・免疫全自動分析装置・全自動血液検査システム			
細菌検査室	174.70m ²		(主な設備) 自動細菌同定感受性装置・自動血液培養装置			
病理検査室	149.80m ²		(主な設備) 自動固定包埋装置・パラフィン包埋ブロック作製装置・マイクローム			
病理解剖室	46.00m ²		(主な設備) 排水滅菌システム・固定液作製装置・解剖台			
研究室	436.80m ²		(主な設備) 臨床情報検索データベースシステム			
講義室	255.10m ²		室数	1室	収容定員	170人
図書室	61.20m ²		室数	1室	蔵書数	6,100冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	98.8%	逆紹介率	49.2%
算出根拠	A：紹介患者の数	12,842人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,530人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	2,286人	
	D：初診の患者の数	15,314人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	56	ベーチェット病	49
2	筋萎縮性側索硬化症	12	57	特発性拡張型心筋症	43
3	脊髄性筋萎縮症	3	58	肥大型心筋症	8
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	5	60	再生不良性貧血	41
6	パーキンソン病	149	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	2	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	71
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	4
11	重症筋無力症	56	66	I g A腎症	9
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	14
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	34	68	黄色靱帯骨化症	16
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	6	69	後縦靱帯骨化症	78
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	9
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	65
17	多系統萎縮症	16	72	下垂体性ADH分泌異常症	9
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	30	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	5	74	下垂体性PRL分泌亢進症	49
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	17
21	ミトコンドリア病	5	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	9
22	もやもや病	16	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	66
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	147
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	7	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	165
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	44
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	15
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	12
34	神経線維腫症	19	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	30	90	網膜色素変性症	29
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬（汎発型）	17	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	11
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	2
40	高安動脈炎	18	95	自己免疫性肝炎	0
41	巨細胞性動脈炎	2	96	クローン病	150
42	結節性多発動脈炎	14	97	潰瘍性大腸炎	178
43	顕微鏡的多発血管炎	15	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	12	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	24	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	5	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	4	103	C F C症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	179	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	106	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	83	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	19	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	13	108	T N F受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	4	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	5
113	筋ジストロフィー	5	163	特発性後天性全身性無汗症	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	V A T E R症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	A T R - X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルティ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	1
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	3
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1 p 3 6 欠失症候群	0
148	游走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4 p 欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5 p 欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	P C D H 1 9 関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	2 2 q 1 1 . 2 欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	1	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	2	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腱黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリボタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	12	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	2
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭ひまん性病変）	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナタ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病（全結腸型又は小腸型）	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	2
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ボルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖尿病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖尿病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	2

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・総合評価加算
・歯科外来診療環境体制加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・特定機能病院入院基本料(7対1)	・病棟薬剤業務実施加算2
・特定機能病院入院基本料(13対1)	・データ提出加算2
・臨床研修病院入院診療加算	・退院支援加算2
・救急医療管理加算	・精神疾患診療体制加算
・妊産婦緊急搬送入院加算	・呼吸ケアチーム加算
・診療録管理体制加算1	・特定集中治療室管理料2
・医師事務作業補助体制加算(100対1)	・新生児特定集中治療室管理料1
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・新生児治療回復室入院医療管理料
・看護職員夜間配置加算2	・小児入院医療管理料2
・看護補助加算2(50対1)(精神)	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型除細動器移行期加算	・国際標準検査管理加算
・高度難聴指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・糖尿病合併症管理料	・植込型心電図検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・がん患者指導管理料1	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料2	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料3	・人工臓器検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・皮下連続式グルコース測定
・夜間休日救急搬送医学管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・外来放射線照射診療料	・神経学的検査
・ニコチン依存症管理料	・補聴器適合検査
・開放型病院共同指導料	・ロービジョン検査判断料
・がん治療連携計画策定料	・コンタクトレンズ検査料1
・がん治療連携管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・内服・点滴誘発試験
・薬剤管理指導料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る)
・医療機器安全管理料1	・CT透視下気管支鏡検査加算
・医療機器安全管理料2	・画像診断管理加算1
・医療機器安全管理料(歯科)	・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・歯科治療総合医療管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・持続血糖測定器加算	・冠動脈CT撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・大腸CT撮影加算
・HPV核酸検出	・心臓MRI撮影加算
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・検体検査管理加算(IV)	・外来化学療法加算1
・遺伝カウンセリング加算	・無菌製剤処理料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術))
・廃用症候群リハビリテーション料(I)	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・運動器リハビリテーション料(I)	・腫瘍脊椎骨全摘術
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・がん患者リハビリテーション料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・集団コミュニケーション療法料	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・羊膜移植術
・児童思春期精神科専門管理加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・認知療法・認知行動療法2	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・精神科作業療法	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・上顎骨形成術(骨移動に伴う場合に限る。八歯科診療の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療の診療に係るものに限る。)
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・人口膵臓療法	・経皮的冠動脈形成術
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1	・経皮的冠動脈ステント留置術
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・歯科点数表第2章第8部処置の通則の6に掲げる処置の休日加算1	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・歯科点数表第2章第8部処置の通則の6に掲げる処置の時間外加算1	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・歯科点数表第2章第8部処置の通則の6に掲げる処置の深夜加算1	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・透析液水質確保加算2	・補助人工心臓
・一酸化窒素吸入療法	・経皮的冠動脈遮断術
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・ダメージコントロール手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胆管悪性腫瘍手術	・歯周組織再生誘導手術
・体外衝撃波胆石破碎術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下肝切除術	・麻酔管理料(I)
・体外衝撃波膵石破碎術	・麻酔管理料(II)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・放射線治療専任加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・外来放射線治療加算
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・1回線量増加加算
・同種死体腎移植術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・生体腎移植術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・膀胱水圧拡張術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算・その他のもの
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・直線加速器による放射線治療
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1	・病理診断管理加算2
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・歯科点数表第2章第9部手術の通則の9に掲げる手術の休日加算1	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・歯科点数表第2章第9部手術の通則の9に掲げる手術の時間外加算1	・
・歯科点数表第2章第9部手術の通則の9に掲げる手術の深夜加算1	・
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	・
・輸血管理料 I	・
・輸血適正使用加算	・
・自己生体組織接着剤作成術	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒトインプリンティング疾患発症を招く(エピ)遺伝学的機序の解明	緒方 勤	小児科学	¥12,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
二次性リンパ浮腫動物モデルの作製と治療法の開発	海野 直樹	外科学第二	¥4,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
小児肝がん国際共同臨床試験に向けた新たな治療戦略のための分子基盤の構築	小倉 薫	小児外科	¥1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
統合失調症の遅発性神経炎症仮説の証明と予防法の開発	岩田 泰秀	精神神経科	¥2,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
アルツハイマー病における神経新生と神経炎症発症起点の生体画像を用いた病態研究	尾内 康臣	生体機能イメージング研究室	¥3,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
Muse細胞をベクターとする悪性グリオーマの自殺遺伝子治療	難波 宏樹	脳神経外科学	¥1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
VEGF-Aを起点とするIL-17産生T細胞の誘導:乾癬病態のパラダイムシフト	戸倉 新樹	皮膚科学	¥4,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
薬剤送達に対するリンパ管の役割:転写因子FOXC2に着目したリンパ管機能解析	平川 聡史	皮膚科学	¥3,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
治療応答に伴うミトコンドリア機能変化に反応する新規がんイメージング薬の開発	間賀田 泰寛	分子病態イメージング	¥3,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
光イメージングによる腫瘍血管・低酸素を標的とした抗癌剤反応性バイオマーカーの開発	阪原 晴海	放射線医学	¥4,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
自閉症の脳内ニコチン様アセチルコリン受容体:PETによる研究	鈴木 勝昭	精神医学	¥3,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
HD-DOTとMRIを用いた社会脳における感情の生成・制御の神経メカニズム解明	星 詳子	生体医用光学	¥5,537,326	補委 独立行政法人日本学術振興会
次世代シーケンサーを用いたわが国の網膜色素変性患者の遺伝子診断システムの構築	堀田 喜裕	眼科学	¥1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
定量位相顕微鏡を用いた新規CTC(血中循環腫瘍細胞)検出器の開発	川端 俊貴	感染対策室	¥1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
MRIを用いた心腔内血流の解析	齊藤 岳兒	救急部	¥1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
光診断技術を応用した術中ナビゲーションシステムの新規開発	平松 良浩	外科学第二	¥1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
CACの発癌過程におけるSirtuinの関与	倉地 清隆	外科学第二	¥1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
自閉症スペクトラムのstate marker-注視点検出装置の臨床応用と展開	土屋 賢治	子どものこころの発達研究センター	¥500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
血清メタボローム解析による自閉症脂肪酸代謝異常の解明と診断マーカーの確立	高貝 就	子どものこころの発達研究センター	¥800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
口腔扁平苔癬に対する5-アミノレブリン酸を用いた光線力学療法・診断	増本 一真	歯科口腔外科	¥600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ボルフィリン合成系タンパクをマーカーとした口腔がんパーソナライズド光線力学療法	長田 哲次	歯科口腔外科学	¥1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
口腔癌におけるCCR10陽性制御性T細胞誘導による腫瘍免疫回避機構の解明	渡邊 賀子	歯科口腔外科学	¥700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
近赤外線分光法による母体脳および胎盤の酸素動態モニタリングの臨床応用に向けた検討	鈴木 一有	周産母子センター	¥1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
低酸素再酸素化ストレスが血管内皮細胞機能に及ぼす影響	小幡 由佳子	集中治療部	¥1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
短時間作用性β遮断薬の脳の酸素化への影響	栗田 忠代士	手術部	¥1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会

母乳栄養による肥満発症抑制機序:脂肪細胞と腸管内分泌細胞への複合作用の解明	藤澤 泰子	小児科	¥1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ボンベ病のエキソソーム機能の解明とmiRNA発現解析によるバイオマーカーの同定	福田 冬季子	小児科学	¥900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Molecular Basis of Familial Glucocorticoid Deficiency	山口 理恵	小児科学	¥1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症心身障がい児の胃食道逆流症の病因としての上部消化管motility異常の解明	川原 央好	小児外科	¥1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小中学校教員のメンタルヘルスについての現況調査と支援プログラムの構築	森 則夫	精神医学	¥800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
外科切除標本灌流ファージディスプレイ法による腫瘍特異的血管内リガンドの探索	佐藤 正範	第一外科	¥1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IL-22産生を介した小腸粘膜防御機構の制御:IELとIECのクロストーク	杉本 健	第一内科	¥800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経細胞における鉄排出システムの補完作用と亜鉛による調節効果の解析	宮嶋 裕明	第一内科	¥1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ω-3系多価不飽和脂肪酸による心保護作用についての研究	佐藤 洋	第三内科	¥700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪肝を背景とする肝細胞癌の発症および悪性形質獲得における遊離脂肪酸調節の関与	坂口 孝宣	第二外科	¥1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌肝転移における脂肪酸代謝の役割と新たな肝転移制御戦略の確立	山本 真義	第二外科	¥800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
浮腫におけるPhlebotomyの病態解明	山本 尚人	第二外科	¥1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腹部大動脈瘤の瘤壁における刷り応力と血管新生、リンパ管新生との関連について	犬塚 和徳	第二外科	¥1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
気管支喘息発作時の気道炎症増悪における獲得免疫と自然免疫のクロストークの解明	藤澤 朋幸	第二内科	¥1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
甲状腺ホルモンとその受容体による転写調節における転写伸長因子の関わり	松下 明生	第二内科	¥1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ナノ粒子によるクロスプレゼンテーション機構を利用した新規喘息ワクチン療法の開発	榎本 紀之	内科学第二	¥600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マイクログリア生体画像による視床下核刺激術後のパーキンソン病変予防効果の解明	野崎 孝雄	脳神経外科	¥1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自殺遺伝子導入iPS細胞による悪性グリオーマの治療研究	天野 慎士	脳神経外科	¥1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網膜光障害モデルを用いた加齢黄斑変性機序追究:責任ゲノム領域の限定エキソーム解析	大石 健太郎	光ゲノム医学	¥900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
褥瘡におけるリンパ管機能障害メカニズムの解析及び褥瘡の早期診断法の確立	糟谷 啓	皮膚科	¥1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
円形脱毛症におけるpDCを中心とした新たな病態メカニズムの解明	伊藤 泰介	皮膚科	¥1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NAFLD/NASHを背景とする肝細胞癌多段階発症と分子標的薬介入による効果	竹原 康雄	放射線部	¥500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者の術前運動療法の周術期心筋保護と術後回復促進のメカニズムに関する研究	加藤 孝澄	麻酔・蘇生学	¥700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん悪液質の病態時におけるオピオイドによる鎮痛効果、有害作用の個人差要因の解明	内藤 隆文	薬剤部	¥1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
染色体構造とゲノム配列の統合にもとづく新規エピゲノム解析法の開発	渡邊 良久	臨床検査医学	¥1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ユビキチンリガーゼSCRAPPERが調節するシナプス蛋白質の超解像イメージング	矢尾 育子	光イメージング研究室	¥800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロテアーゼ活性化受容体-細胞内シグナル伝達系を介した絨毛細胞障害修復機構の検討	杉村 基	産婦人科家庭医療学	¥1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
病理組織学的検討に基づいた羊水塞栓症の診断法と新規治療薬の開発	田村 直顕	産婦人科学	¥1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

自閉症スペクトラムにおける軸索走行異常とミクログリア活性化	杉山 登志郎	児童青年期精神医学	¥1,800,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌における長鎖遺伝子間ncRNAのエピジェネティック制御について	三澤 清	耳鼻咽喉科	¥1,100,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌におけるTet-assist Bisulfite 法による脱メチル化解析	大和谷 崇	耳鼻咽喉科	¥1,400,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
高機能自閉症者の脳内GABA濃度と各種臨床パラメーターとの関連性	和久田 智靖	精神医学	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
自閉症のドメインD1受容体の機能変化に関するPET研究	藤田 梓	精神医学	¥900,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
ハイリスク出生コホート研究に基づく自閉症スペクトラム障害の超早期兆候の特定	豊田 志保	精神科神経科	¥0	神委	独立行政法人日本学術振興会
パーキンソン病-脳深部刺激モデルラットでのPETによるドーパミン放出の研究	杉山 憲嗣	脳神経外科学	¥500,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
腎癌のFABP7機能解明とトリグセリド代謝の検討ならびに発癌予防に向けた探索	大園 誠一郎	泌尿器科学	¥1,100,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
13C-ナプロキセン呼吸試験によるNSAID潰瘍リスク評価と個別化療法の確立	古田 隆久	臨床研究管理センター	¥1,600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
脳賦活リハビリテーションに貢献する光イメージングを用いた認知機能定量法の開発	大星 有美	生体機能イメージング研究室	¥657,224	神委	独立行政法人日本学術振興会
前頭-頭頂葉機能インバランス仮説に基づく自閉性障害の脳機能解明と評価指標作成	涌澤 圭介	子どものこころの発達研究センター	¥700,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
恐怖不安関連因子stathmin1のTLR3を介したミクログリア活性化機構の解明	山田 浩平	子どものこころの発達研究センター	¥1,100,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
生殖補助医療により生まれた児の運動・言語・社会性の発達の軌跡	中原 竜治	子どものこころの発達研究センター	¥1,200,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
裂手裂足症およびその類縁疾患を招く遺伝的機序の解明	永田 絵子	小児科学	¥1,500,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌におけるDigital PCR装置を使ったメチル化解析法の確立	遠藤 志織	耳鼻咽喉科	¥800,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
H19およびmiR-675による頭頸部癌早期発見法の確立	岡村 純	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	¥900,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
抗コプロポルフィン抗体を用いた羊水塞栓症の組織学診断および迅速診断法開発の検討	古田 直美	周産母子センター	¥1,100,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
神経性無食欲症におけるセロトニン系異常とミクログリア活性化:PETによる研究	横倉 正倫	精神医学	¥1,500,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
原発性胆汁性肝硬変症における転写因子Nr2の機能解析と治療基盤の創出	川田 一仁	第二内科	¥1,200,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
質量顕微鏡を用いた肝癌微小環境における脂質合成・代謝経路の解析	森田 剛文	第二外科	¥700,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
男児外生殖器異常発症に関与する環境因子と遺伝因子の複合的作用についての研究	大石 彰	地域周産期医療学講座(寄附講座)	¥1,000,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
不規則抗体が関与する遅発性溶血性輸血副作用の解明-前方向多施設共同研究の推進-	藤原 晴美	輸血・細胞治療部	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
マイクロサテライト不安定性標的遺伝子MBD4変異と大腸がん薬物療法の感受性変化	岩泉 守哉	臨床腫瘍学	¥1,100,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
アミノレプリン酸治療効果を予測する新規好感度画像診断プローブの開発	鈴木 千恵	分子病態イメージング	¥1,226,460	神委	独立行政法人日本学術振興会
質量顕微鏡法によるヒト胎盤絨毛解析-病態特異的生体高分子マーカー同定を目指して-	伊東 宏晃	周産母子センター	¥1,000,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
生殖補助医療が胎盤の構造・機能の変化を介して分娩時出血量に及ぼす影響の解析	谷口 千津子	産科婦人科	¥900,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
いじめによる精神健康被害の大規模疫学調査及びいじめ予防プログラムの実施とその効果	武井 教使	子どものこころの発達研究センター	¥700,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
精神疾患の創薬に貢献する保護・傷害型ミクログリア活性のin vivo画像法の開発	尾内 康臣	生体機能イメージング研究室	¥800,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
自閉症脳におけるエピジェネティクス解析	岩田 泰秀	精神科神経科	¥1,300,000	神委	独立行政法人日本学術振興会

非侵襲的採取角層を用いたプロテオーム解析によるアトピー性皮膚炎バリア異常の評価	戸倉 新樹	皮膚科学	¥1,400,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
生体内金属関連反応の画像化を目指した金属核種を必要としない低分子PET薬剤の開発	間賀田 泰寛	分子病態イメージング研究室	¥900,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
アレルギー性疾患の先制医療を目指して:アトピー性皮膚炎における鼻腔常在菌叢の意義	前川 真人	臨床検査医学	¥900,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
超高速三次元計測小型カメラによる高精度放射線治療位置認識システムの開発	中村 和正	放射線腫瘍学	¥551,033	神委	独立行政法人日本学術振興会
科学的臨床検査を目指した、標準化未踏である免疫学的検査データの標準化への挑戦	前川 真人	臨床検査医学	¥5,200,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
乳幼児期早期の発達遅滞に関する、認知機能評価と脳MRIによる大規模追跡研究	武井 教使	子どものこころの発達研究センター	¥2,600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
胎生期低栄養が小胞体ストレス応答を介して成人期の脂肪蓄積リスクとなる機序の解析	伊東 宏晃	周産母子センター	¥5,900,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
血中循環腫瘍細胞の新規検出方法開発と臨床応用	今野 弘之	外科学第二	¥4,400,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
糖鎖模倣ペプチドIF7による腫瘍標的抗癌剤の研究開発	杉原 一廣	産科婦人科	¥4,100,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
血管浮腫の観点からみた羊水寒栓症の診断、治療、予知・予防に関する研究	金山 尚裕	産科婦人科	¥7,200,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
胃がん腹膜播種に対するトラスズマブの腹腔内投与を用いた新規治療法の開発	加藤 真也	薬剤部	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
肺癌患者の血中エルロチニブ濃度と4β-ヒドロキシコレステロール濃度との関係解析	石田 卓矢	薬剤部	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
インフリキシマブの出産前後における薬物動態変動および児への影響に関する研究	久保野 尚子	薬剤部	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
多発性骨髄腫患者におけるボルテゾミブの薬物動態と炎症性サイトカインの関係解明	大澤 隆志	薬剤部	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
レトロスペクティブ及びプロスペクティブ解析を用いたヘパリン至適投与量決定法の構築	加藤 文美	薬剤部	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
妊婦におけるクロラムフェニコール臍錠の血中移行性と安全性の評価	原内 智慧	薬剤部	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
薬剤耐性菌出現防止を目的としたドリベナムのPK-PD理論に基づく投与設定法の確立	山崎 美穂	薬剤部	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
地域医療連携による外来薬物治療の最適化のための情報提供ツール構築と有用性の評価	青野 浩直	薬剤部	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
腎機能低下時における用量調節の遵守状況及び有害作用発現頻度と治療継続率の関係解析	大澤 志保	薬剤部	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
注射用タロバクタム/ピペラシリンの推奨投与量が有効性及安全性に及ぼす影響の解析	高井 伸彦	薬剤部	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
急性期重症患者への投与を想定したメロニダゾール静注液の配合変化についての検討	山田 直香	薬剤部	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌患者の放射線治療による嚥下と筋力の悪化をリハビリ介入で予防できるか	安田 千里	リハビリテーション部	¥2,600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
うつ病に対する集団行動活性化療法の効果検討とプログラム開発	望月 洋介	精神医学	¥1,900,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
がん患者における病期に基づくオピオイドの鎮痛効果および有害作用の変動予測法の構築	川上 純一	薬剤部	¥1,300,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
診療所組織を対象としたプライマリ・ケア質向上プログラムの開発	井上 真智子	地域家庭医療学	¥1,400,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病心筋における細胞内レニンの細胞保護作用の検討	加藤 秀樹	内科学第三	¥1,600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
生分解性ナノ粒子を用いた結核感染症に対する新規樹状細胞ワクチンの開発	須田 隆文	内科学第二	¥1,000,000	神委	独立行政法人日本学術振興会

肺線維症合併肺癌に対する新規免疫療法の開発	中村 祐太郎	内科学第二	¥1,500,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症性急性腎障害モデルにおける好中球細胞外トラップの役割の解析	安田 日出夫	内科学第一	¥1,300,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症性急性腎障害におけるTLR9 - IL-17経路の役割の検討	辻 孝之	内科学第一	¥1,300,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
甲状腺ホルモンによる甲状腺刺激ホルモン放出ホルモンへの負の調節機構	佐々木 茂和	内科学第二	¥1,800,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
血管老化におけるリポキゲナーゼの細胞内局在制御システムの役割	勝見 章	臨床腫瘍学	¥1,400,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
川崎病発症後における早期動脈硬化リスク因子の探索	石川 貴充	小児科学	¥2,200,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
うつ病に対するECTの改善効果:MRSとPETによるエネルギー代謝の検討	竹林 淳和	精神医学	¥1,300,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
脳に発現する免疫分子MHCの注意欠如・多動性障害への関与	中原 大一郎	精神医学	¥1,300,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
質量顕微鏡を用いた乳癌組織の質的解析による治療効果予測因子、予後因子の探索	小倉 廣之	外科学第一	¥400,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
高解像度マノトリーを用いた食道癌術後嚥下機能評価	神谷 欣志	外科学第二	¥3,000,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
miRNA発現変化を介した消化器悪性腫瘍肝転移機構の解析	菊池 寛利	外科学第二	¥1,200,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
神経膠腫の悪性転化原因変異のエキソーム解析と血中分泌小胞分析による鑑別法の開発	蓑島 伸生	光ゲノム医学	¥1,400,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
パーキンソン氏病サルモデルの粗大運動と微細運動に対するDBSのPETを用いた研究	浅川 哲也	精神医学	¥1,500,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
核磁気共鳴エラストグラフィによる頭蓋内腫瘍の弾性率の解析	酒井 直人	脳神経外科学	¥700,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
コレシストキニンB受容体蛋白による軸索伸長効果	長谷川 智彦	整形外科	¥1,200,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
精子運動の活性化と受精率の改善を目指したトランスレーショナル・リサーチ	柴田 俊章	産婦人科学	¥1,500,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
内診指接着型胎児オキシメーターを用いた新規胎児モニタリング法の開発	内田 季之	産婦人科学	¥1,400,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
腸内細菌叢制御による脳動脈瘤破裂予防の研究	牧野 洋	麻酔・蘇生学	¥1,300,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
出血性ショック後の臓器障害に与える一酸化窒素吸入の効果に関する研究	御室 総一郎	集中治療部	¥1,500,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
腎細胞癌に対するtemsirolimusおよびcystirsen併用療法の検討	三宅 秀明	泌尿器科学	¥686,486	神委	独立行政法人日本学術振興会
EMDRIによる外傷後ストレス障害の治療機転に関する脳画像研究	井上 淳	精神医学	¥1,300,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
小学校低学年の書字能力スクリーニング検査の開発	片桐 正敏	子どものこころの発達研究センター	¥800,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
ナノスーツ法を用いた癌研究:電子顕微鏡で生きたまま細胞を観察する新しい技術	平川 聡史	皮膚科学	¥1,400,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
ミクログリア活性化に対する光療法の開発ー動物モデルを用いた基礎的研究ー	高橋 太郎	精神医学	¥1,300,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
GM-CSFの投与による新しい自閉症モデルの開発	長 由利子	精神医学	¥1,400,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
幻聴の病態発生に関する脳画像研究	松尾 香弥子	精神医学	¥1,000,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
電磁波による脳血流イメージング法の開発	山本 清二	イノベーション光医学	¥1,600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
婦人科癌の血清診断法の開発研究	杉原 一廣	産婦人科学	¥600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会

自閉症スペクトラム者に対する司法面接法の開発に向けた実証研究	上宮 愛	子どものこころの発達研究センター	¥1,300,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
自閉症者における認知-感情ネットワークの特異性に関する機能的脳画像研究	伊藤 大幸	子どものこころの発達研究センター	¥1,000,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
一般小中学生における性別違和の実態把握と心理社会的不適応の関連	浜田 恵	子どものこころの発達研究センター	¥1,000,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
尿酸生成酵素阻害薬の最適投与設計法の確立	見野 靖晃	薬剤部	¥1,700,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
医療情報データベースを用いたARBの医薬品相互作用の探索法開発およびその機序解明	堀 雄史	薬剤部	¥700,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
幼児期における自己制御機能の発達とその規定因に関する研究	浅野 良輔	子どものこころの発達研究センター	¥1,500,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
中毒例のヒト臓器・体液からの危険ドラッグ成分抽出と標準添加法による高感度機器分析	長谷川 弘太郎	法医学	¥1,300,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
アルツハイマー病におけるタウ病変、ミクログリア活性、アミロイド蓄積の病態関連研究	寺田 達弘	生体機能イメージング研究室	¥1,200,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
マイクロアレイによる網羅的解析を用いた白血球細胞の薬剤感受性の解明	坂口 公祥	小児科学	¥1,300,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
乳がん病変の時間分解分光装置による定量的測定	芳澤 暢子	放射線診断学・核医学	¥500,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
クローン病腸管粘膜におけるLPCAT3の機能解析	原田 岳	外科学第二	¥1,400,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
先天白内障の病態解明のための3次元生体測定とデータベース構築	立花 信貴	眼科学	¥900,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
線溶系の制御による脳動脈瘤発生および破裂予防法の検討	木村 哲朗	手術部	¥1,500,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
シルバーラッセル症候群発症機序の解明と(エビ)遺伝子型-表現型解析	加藤 芙弥子	小児科学	¥1,600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
二次性リンパ浮腫の病態解明及び治療法の開発	佐野 真規	外科学第二	¥1,600,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
自閉症スペクトラム障害児の包括的症状評価と適応行動に基づく介入プログラムの開発	大隅 香苗	精神医学	¥1,700,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
オートファジー制御による肥満重症喘息に対する新規治療法の開発	鈴木 勇三	内科学第二	¥1,200,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
レビー小体型認知症の精神症状発現と脳内活性化ミクログリア局在との関連性の検討	武内 智康	生体機能イメージング研究室	¥1,200,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
マウス蝸牛組織における自然免疫応答の検討	中西 啓	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	¥1,000,000	神委	独立行政法人日本学術振興会
「自閉症の病態研究と新たな診療技法(診断・予防・治療)の開発」	森 則夫	精神医学講座	¥48,300,000	補委	日本医療研究開発機構
インプリンティング疾患の遺伝子診断法の開発と発症機序の解明	緒方 勤	小児科学講座	¥300,000	補委	国立成育医療研究センター
小児の失明に関わる遺伝性視覚障害の原因と病態解明	堀田 喜裕	眼科学講座	¥2,000,000	補委	国立成育医療研究センター
発達障害児および被虐待児への対応システム、ならびに健全な子育てに必要な親子支援に関する研究	杉山 登志郎	児童青年期精神医学講座	¥10,000,000	補委	社会福祉法人浜松市社会福祉事業団
がん患者の外見支援に関するガイドラインの構築に向けた研究	平川 聡史	皮膚科学講座	¥300,000	補委	国立がん研究センター
成育希少疾患の症例登録と遺伝学的診断に関する研究	緒方 勤	小児科学講座	¥800,000	補委	国立成育医療研究センター
子宮内膜症に対するペプチド治療薬の探索	杉原 一廣	産婦人科学講座	¥28,927,800	補委	日本医療研究開発機構
石英ガラスを用いて接触観察を可能とした処置用消化管内視鏡の開発	大澤 恵	光学医療診療部	¥1,228,100	補委	科学技術振興機構
原因不明遺伝子関連疾患の全国横断的症例収集・バンキングと網羅的解析	緒方 勤	小児科学講座	¥14,000,000	補委	日本医療研究開発機構

治験の実施に関する研究[<small>g</small> -CSF]	松山 幸弘	整形外科科学講座	¥736,300	補 委	公益社団法人日本医師会
注視点検出技術を活用した発達障がい診断システムの開発	土屋 賢治	子どものこころの発達研究センター	¥650,000	補 委	日本医療研究開発機構
電子顕微鏡技術に基づく癌診断法の開発	菊池 寛利	外科学第二講座	¥12,234,033	補 委	日本医療研究開発機構
インドシアニングリーンを用いたリンパ管蛍光造影法の四肢リンパ浮腫診断の有効性の検証	海野 直樹	外科学第二講座	¥8,712,930	補 委	日本医療研究開発機構
手術療法の標準化に向けた消化器外科専門医育成に関する研究	今野 弘之	外科学第二	¥9,360,000	補 委	厚生労働省科学研究費
性分化・性成熟疾患群における診療ガイドラインの作成と普及	緒方 勤	小児科学	¥6,667,000	補 委	厚生労働省科学研究費
びまん性肺炎患に関する調査研究	須田 隆文	内科学第二	¥300,000	補 委	厚生労働省科学研究費
摂食障害の診療体制整備に関する研究	森 則夫	精神医学	¥600,000	補 委	厚生労働省科学研究費
がん診療ガイドライン普及促進とその効果に関する研究及び同ガイドライン事業の在り方に関する研究	今野 弘之	外科学第二	¥150,000	補 委	厚生労働省科学研究費
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	松山 幸弘	整形外科科学	¥500,000	補 委	厚生労働省科学研究費
肥厚性皮膚骨膜症の診療内容の均てん化に基づく重症度判定に関する研究	戸倉 新樹	皮膚科学	¥100,000	補 委	厚生労働省科学研究費
難治性血管腫・血管奇形・リンパ管腫・リンパ管腫症および関連疾患についての調査研究	平川 聡史	皮膚科学	¥200,000	補 委	厚生労働省科学研究費
総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究	大園 誠一郎	泌尿器科学	¥300,000	補 委	厚生労働省科学研究費
中隔視神経異形成症の実態調査と診断基準・重症度分類の作成に関する研究	佐藤 美保	眼科学	¥100,000	補 委	厚生労働省科学研究費
がん診療科データベースとJapaneseNationalCancerDatabase(JNCDB)の運用と他がん登録との連携	中村 和正	放射線腫瘍学	¥50,000	補 委	厚生労働省科学研究費
周産期医療と他領域との効果的な協働体制に関する研究	金山 尚裕	産婦人科学	¥1,000,000	補 委	厚生労働省科学研究費
国際標準に立脚した奇形症候群領域の診療指針に関する学際的・網羅的検討	緒方 勤	小児科学	¥1,000,000	補 委	厚生労働省科学研究費
ラインゾーム病(ファブリ病含む)に関する調査研究	福田 冬季子	小児科学	¥600,000	補 委	厚生労働省科学研究費
間脳下垂体機能障害における診療ガイドライン作成に関する研究	沖 隆	地域家庭医療学	¥150,000	補 委	厚生労働省科学研究費
小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	川原 央好	小児外科	¥100,000	補 委	厚生労働省科学研究費
				補 委	
				補 委	
				補 委	

計 ¥381,724,692

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Ohashi N	第1内科	The level of urinary α 1 microglobulin excretion is a useful marker of peritubular capillaritis in antineutrophil cytoplasmic antibody associated vasculitis.	Clin Exp Nephrol 19(5):851-8, 2015.
2	Ohashi N	第1内科	Hyperuricaemia is associated with renal damage independently of hypertension and intrarenal renin-angiotensin system activation, as well as their circadian rhythms.	Nephrology (Carlton) 20(11):814-9, 2015.
3	Iwakura T	第1内科	Prevalence of Enhanced Granular Expression of Thrombospondin Type-1 Domain-Containing 7A in the Glomeruli of Japanese Patients with Idiopathic Membranous Nephropathy.	PLoS One 10(9): e0138841, 2015.
4	Isobe S	第1内科	Disturbed circadian rhythm of the intrarenal renin-angiotensin system: relevant to nocturnal hypertension and renal damage.	Clin Exp Nephrol 19(2):231-9, 2015.
5	Kagami T	第1内科	One-day front-loading with four doses of rabeprazole followed by a standard twice-daily regimen provides sufficient acid inhibition in extensive metabolizers of CYP2C19.	Eur J Clin Pharmacol 71:1467-75, 2015.
6	Sahara S	第1内科	Potent Gastric Acid Inhibition Over 24 Hours by 4-Times Daily Dosing of Esomeprazole 20 mg.	Digestion 91: 277-85, 2015.
7	Ichikawa H	第1内科	Influence of prostate stem cell antigen gene polymorphisms on susceptibility to Helicobacter pylori-associated diseases: a case-control study.	Helicobacter 20:106-13, 2015.
8	Sugimoto K	第1内科	An Increased Serum N-Terminal Telopeptide of Type I Collagen, a Biochemical Marker of Increased Bone Resorption, Is Associated with Infliximab Therapy in Patients with Crohn's Disease.	Dig Dis Sci 61: 99-106, 2016.
9	Matsunaga H	第2内科	Essential Role of GATA2 in the Negative Regulation of Type 2 Deiodinase Gene by Liganded Thyroid Hormone Receptor β 2 in Thyrotroph.	PLoS One. 10(11):e0142400, 2015.
10	Tsuriya D	第2内科	Additive and Antagonistic Effects among Combination of Agonists of Peroxisome Proliferator- Activated Receptor gamma (PPAR γ) on Transcriptional Activity.	Diabetes Research Open J 1(2):27-33, 2015.
11	Inoue Y	第2内科	Clinicopathological and Survival Analysis of Japanese Patients with Resected Non-Small-Cell Lung Cancer Harboring NKX2-1, SETDB1, MET, HER2, SOX2, FGFR1, or PIK3CA Gene Amplification.	J Thorac Oncol 10(11): 1590-600, 2015.
12	Inoue Y	第2内科	Cumulative Incidence and Predictors of Progression in Corticosteroid-Naïve Patients with Sarcoidosis.	PLoS One 10(11): e0143371, 2015.
13	Inoue Y	第2内科	Phase II study of erlotinib in elderly patients with non-small cell lung cancer harboring epidermal growth factor receptor mutations.	Cancer Chemother Pharmacol 76(1): 155-61, 2015.

14	Inui N	第2内科	Effects of indacaterol versus tiotropium on respiratory mechanics assessed by the forced oscillation technique in patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis 10: 1139-46, 2015.
15	Shirai T	第2内科	Resonant frequency as a predictor of phase III slope of nitrogen single-breath washout in asthma.	Ann Allergy Asthma Immunol 115: 73-4, 2015.
16	Ozawa Y	第2内科	Management of brain metastasis with magnetic resonance imaging and stereotactic irradiation attenuated benefits of prophylactic cranial irradiation in patients with limited-stage small cell lung cancer.	BMC Cancer 15(1): 589, 2015.
17	Ozawa Y	第2内科	Impact of preexisting interstitial lung disease on acute, extensive radiation pneumonitis: retrospective analysis of patients with lung cancer.	PLoS One 10(10): e0140437, 2015.
18	Oyama Y	第2内科	Efficacy of short-term prednisolone treatment in patients with chronic eosinophilic pneumonia.	Eur Respir J 45(6): 1624-31, 2015.
19	Mori K	第2内科	Synergistic Proinflammatory Responses by IL-17A and Toll-Like Receptor 3 in Human Airway Epithelial Cells.	PLoS One 10(9): e0139491, 2015.
20	Ikeda M	第2内科	Nontypeable Haemophilus influenzae exploits the interaction between protein-E and vitronectin for the adherence and invasion to bronchial epithelial cells.	BMC Microbiol. 15(1): 263, 2015.
21	Enomoto Y	第2内科	Efficacy and Safety of Combined Carboplatin, Paclitaxel, and Bevacizumab for Patients with Advanced Non-squamous Non-small Cell Lung Cancer with Pre-existing Interstitial Lung Disease: A Retrospective Multi-institutional Study.	Anticancer Res 35(7): 4259-63, 2015.
22	Enomoto Y	第2内科	Safety of topotecan monotherapy for relapsed small cell lung cancer patients with pre-existing interstitial lung disease.	Cancer Chemother Pharmacol 76(3): 499-505, 2015.
23	Kusagaya H	第2内科	Evaluation of palonosetron and dexamethasone with or without aprepitant to prevent carboplatin-induced nausea and vomiting in patients with advanced non-small-cell lung cancer.	Lung Cancer 90:410-416, 2015.
24	Noritake H	第2内科	Successful interferon therapy reverses enhanced hepatic progenitor cell activation in patients with chronic hepatitis C.	J Interferon Cytokine Res 35:956-962, 2015.
25	Ohba K	第2内科	Desensitization and Incomplete Recovery of Hepatic Target Genes After Chronic Thyroid Hormone Treatment and Withdrawal in Male Adult Mice.	Endocrinology. 2016 Apr;157(4):1660-72
26	Suwa K	第3内科	Characteristics of intra-left atrial flow dynamics and factors affecting formation of the vortex flow.	Circ J 79:144-152, 2015.
27	Sano M	第3内科	Characteristics and clinical relevance of late gadolinium enhancement in cardiac magnetic resonance in patients with systemic sclerosis.	Heart Vessels 30:779-788, 2015.
28	Nonaka D	第3内科	Intracellular Renin Protects Cardiomyocytes from Ischemic Injury in Diabetic Heart.	J Cardiovasc Dis Diagn, 2015. 3:214 doi:10.4172/2329-9517.1000214
29	Nagata Y	第3内科	Palmitic acid, verified by lipid profiling using secondary ion mass spectrometry, demonstrates anti-multiple myeloma activity.	Leukemia Reseach 39(6):638-645, 2015.

30	Inoue J	精神科	Additional donepezil treatment for patients with geriatric depression who exhibit cognitive deficit during treatment for depression	Psychogeriatrics, 16: 54-61, 2016
31	Ishikawa T	小児科	Hemodynamic assessment in a child with renovascular hypertension using time-resolved three-dimensional cine phase-contrast MRI	J Magn Reson Imaging 41 (1): 165-168, 2015.
32	Nakashima S	小児科	Silver-Russell syndrome without body asymmetry in three patients with duplications of maternally derived chromosome 11p15 involving CDKN1C	J Hum Genet 60 (2): 91-95, 2015. doi: 10.1038/jhg.2014.100
33	Fujisawa Y	小児科	Impact of a novel homozygous mutation in nicotinamide nucleotide transhydrogenase on mitochondrial DNA integrity in a case of familial glucocorticoid deficiency	BBA Clinical 1 (3): 70-78, 2015
34	Nagata E	小児科	Femoral-Tibial-Digital Malformations in a Boy with the Japanese Founder Triplication of BHLHA9.	Am J Med Genet A 167 (12): 3226-3228, 2015 doi: 10.1002/ajmg.a.37290. IF=2.048C
35	Matsushita R	小児科	Development of waist circumference percentiles for Japanese children and an examination of their screening utility for childhood metabolic syndrome.	BMC Public Health 15: 1121, 2015. doi: 10.1186/s12889-015-2447-1
36	Fujisawa Y	小児科	Combined steroidogenic characters of fetal adrenal and Leydig cells in childhood adrenocortical carcinoma	J Steroid Biochem Mol Biol 159: 86-93, 2016. doi: 10.1016/j.jsbmb.2016.02.031
37	Asahina M	小児科	Novel RAB3GAP1 compound heterozygous mutations in Japanese siblings with Warburg Micro syndrome	Brain Dev 38 (3): 337-340, 2016. doi: 10.1016/j.braindev.2015.09.006
38	Satake E	小児科	Urinary myo-inositol levels in Japanese schoolchildren with normal glucose tolerance.	J Pediatr Endocrinol Metab 29:179-184 2015
39	Kawahara H	小児外科	Causal relationship between delayed gastric emptying and gastroesophageal reflux in patients with neurological impairment	Pediatr Surg Int, 31, 917-23, 2015
40	Tsuda K	第1外科	Transesophageal versus transcranial motor evoked potentials to monitor spinal cord ischemia.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2016 Feb;151(2):509-17.
41	Tsuda K	第1外科	Transoesophageal spinal cord stimulation for motor-evoked potentials monitoring: feasibility, safety and stability.	Eur J Cardiothorac Surg. 2015 Aug;48(2):245-51.
42	Matsunuma R	第1外科	UV Damage-Induced Phosphorylation of HB01 Triggers CRL4DDB2-Mediated Degradation To Regulate Cell Proliferation.	Mol Cell Biol. 2015 Nov 16; 36(3):394-406.
43	Hara R	第2外科	Microarray analysis reveals distinct gene set profiles for gastric and intestinal gastrointestinal stromal tumors.	Anticancer Res, 35(6), 3289-3298, 2015
44	Unno N	第2外科	Early Outcomes of Iliac Branch Grafts in the Endovascular Repair of Abdominal Aortic Aneurysm with Concomitant Bilateral Common Iliac Artery Aneurysms at a Japanese Institution.	Surg Today 45(6) 688-694 , 2015
45	Saito T	第2外科	Low lymphatic pumping pressure in the legs is associated with leg edema and lower quality of life in healthy volunteers.	Lymph Res Biol Jun;13(2): 154-159, 2015

46	Kamiya K	第2外科	Quantitative assessment of the free jejunal graft perfusion.	J Surg Res. Apr;194(2):394-9, 2015
47	Kawaji H	脳神経外科	Interferon- β and temozolomide combination therapy for temozolomide monotherapy-refractory malignant gliomas	Mol Clin Oncol 3(4): 909-913, 2015.
48	Sakai N	脳神経外科	Evaluation of the antiangiogenic effects of octreotide on growth hormone-producing pituitary adenoma using arterial spin-labeling perfusion imaging	Magn Reson Med Sci. 14(1): 73-76, 2015
49	Oe S	整形外科	The influence of age and sex on cervical spinal alignment among volunteers aged over 50	Spine 40(19) : 1487-1494, 2015
50	Omura T	整形外科	Robust Axonal Regeneration Occurs in the Injured CAST/Ei Mouse CNS	Neuron 86(5) : 1215-1227, 2015
51	Yamato Y	整形外科	Calculation of the Target Lumbar Lordosis Angle for Restoring an Optimal Pelvic Tilt in Elderly Patients with Adult Spinal Deformity	Spine 41(4) : E211-217, 2016
52	Kamiya K	皮膚科	Gross cystic disease fluid protein 15 in stratum corneum is a potential marker of decreased eccrine sweating for atopic dermatitis	PLoS One 10(4): e0125082, 2015
53	Kamiya K	皮膚科	Clues to diagnosis for unusual mucosal pemphigus demonstrating undetectable anti-desmoglein 3 serum antibodies by routine tests	J Dermatol 42(6): 572-579, 2015
54	Tokura Y	皮膚科	Human T-lymphotropic virus 1 (HTLV-1)-associated lichenoid dermatitis induced by CD8+ T cells in HTLV-1 carrier, HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis and adult T-cell leukemia/lymphoma.	J Dermatol 42(10): 967-974, 2015
55	Tatsuno K	皮膚科	TSLP directly interacts with skin-homing Th2 cells highly expressing its receptor to enhance IL-4 production in atopic dermatitis	J Invest Dermatol 135(12): 3017-3024, 2015
56	Kamiya K	皮膚科	Epitope analysis of antidesmoglein 1 autoantibodies from patients with pemphigus foliaceus across different activity stages.	Br J Dermatol 174(1): 113-119, 2016.
57	Fujita H	泌尿器科	Validity of tissue microarray by immunohistochemistry	Clin Lab 61:569-574, 2015
58	Suzuki T	泌尿器科	The expression of β 3 -adrenoceptors and their function in the human prostate	The Prostate 76:163-71, 2016
59	Hosono K	眼科	Novel GUCY2D Gene Mutations in Japanese Male Twins with Leber Congenital Amaurosis.	J Ophthalmol Article ID 693468 doi:10.115/2015/693468
60	Sawada M	眼科	Characteristics and surgical outcomes of consecutive exotropia of different etiologies.	Jpn J Ophthalmol 59: 335-340
61	Misawa K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Aberrant methylation inactivates somatostatin and somatostatin receptor type 1 in head and neck squamous cell carcinoma.	PLoS ONE; 10(3):e0118588. 2015

62	Misawa K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Epigenetic Inactivation of Galanin and Galanin Receptor 1/2 associated with early recurrence in Head and Neck Cancer.	Clin Exp Metastasis. ; 33(2) : 187-195. 2016
63	Misawa K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Primary combined small and squamous cell carcinoma of the hypopharynx: a case report.	Molecular and Clinical Oncology; 4(5): 709-714. 2016
64	Misawa K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Prognostic value of aberrant promoter hypermethylation of tumor-related genes in early-stage head and neck cancer.	Oncotarget; 7 : 26087-26098, 2016 [6. 359]
65	Mochizuki D	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Anti-tumor effect of inhibition of IL-6 signaling in mucocoeptidermoid carcinoma.	Oncotarget; 6(26): 22822-22835, 2015 [6. 359]
66	Hosokawa S	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Survival outcomes after surgical resection of pulmonary metastases of head and neck tumours.	J Laryngol Otol 130(3); 291-295, 2016.
67	Kato K	産婦人科	Undernourishment in utero primes hepatic steatosis in adult mice offspring on an obesogenic diet; involvement of endoplasmic reticulum stress	Sci Rep. 19(5): 16867, 2015.
68	Yamazaki K	産婦人科	Decrease in Sphingomyelin (d18:1/16:0) in Stem Villi and Phosphatidylcholine (16:0/20:4) in Terminal Villi of Human Term Placentas with Pathohistological Maternal Malperfusion	PLoS One 10(11), 2015. e0142609 doi:10.1371
69	Nakamura Y	産婦人科	Morphologic characteristics of the placental basal plate in in vitro fertilization pregnancies: a possible association with the amount of bleeding in delivery.	Human Pathology. 46(8): 1171-1179, 2015.
70	Farhana M	産婦人科	Histological characteristics of the myometrium in the postpartum hemorrhage of unknown etiology: a possible involvement of local immune reactions	J Reprod Immunol. 110: 74-80, 2015.
71	Itoh Y	放射線科	Feasibility of magnetic resonance elastography for the pancreas at 3T.	J Magn Reson Imaging 43 (2) : 384-390, 2016
72	Makino H	麻酔科蘇生科	Successful serial imaging of the mouse cerebral arteries using conventional 3-T magnetic resonance imaging	J Cereb Blood Flow Metab. 35, 1523-7, 2015
73	Nagata T	歯科口腔外科	Three-dimensional computed tomographic analysis of variations of the carotid artery.	J Craniomaxillofac Surg, 2016 Volume 44, Issue 6, June 2016, Pages 734-42
74	Masumoto K	歯科口腔外科	E3 ubiquitin ligases as molecular targets in human oral cancers.	Curr Cancer Drug Targets, 16, 130-135, 2016
75	Ishikawa K	形成外科	Application of a three-microneedle device for the delivery of local anesthetics.	Patient Preference and Adherence 9(4):1-4, 2015.
76	Fujiwara M	形成外科	Lymphatic transit rate as a novel predictive parameter for nodal metastasis in primary truncalskin cancers.	J Dermatol. 43(2):170-174, 2016
77	Tsuriya D	検査部	Additive and antagonistic effects among combination of agonists of peroxisome proliferator-activated receptor gamma (PPARγ) on transcriptional activity.	Diabetes Research - Open Journal vol.1, 27-33 2015

78	Kurita T	手術部	The Influence of Hypovolemia and Fluid Resuscitation During Hemorrhagic Shock on Apneic Oxygen Desaturation After Preoxygenation in a Swine Model	Anesth Analg 121:1555-61, 2015
79	Kurita T	手術部	Impact of a β -blocker and/or acute hemodilution on cerebral oxygenation during apneic hypoxia	Acta Anaesth Scand 60:343-53, 2016
80	Kurita T	手術部	Evaluation of near infrared spectroscopy for detecting the β blocker-induced decrease in cerebral oxygenation during hemodilution in a swine model	Journal of Clinical Monitoring and Computing, 29, 779-788, 2015.
81	Takei Y	放射線部	Nationwide survey of radiation exposure during pediatric computed tomography examinations and proposal of age-based diagnostic reference levels for Japan	Pediatric Radiology 46(2):280-285, 2016.
82	Kawashima S	集中治療部	Four-Group Classification Based on Fibrinogen Level and Fibrin Polymerization Associated With Postoperative Bleeding in Cardiac Surgery	Clin Appl Thromb Hemost. Doi: 10.1177/1076029615597061, 2015
83	Fujihara H	輸血・細胞治療部	Evaluation of the in-hospital haemovigilance by introduction of the information technology based system	Transfusion, 55(12): 2898-904, 2015
84	Furumaki H	輸血・細胞治療部	Involvement of transfusion unit staff in the informed consent process	Transfus Apher Sci, 54(1): 150-7, 2016
85	Ono M	血液浄化療法部	Role of intrarenal (pro)renin receptor in ischemic acute kidney injury in rats	Clin Exp Nephrol 19: 185-196, 2015
86	Mizushima T	リハビリテーション部	Evidence of an association between cardiac-locomotor synchronization and lower leg muscle blood perfusion during walking.	J Phys Ther Sci. Jun;27(6):1819-22. 2015
87	Odagiri K	臨床研究管理センター	Effects of the Rho-kinase inhibitor fasudil on pulmonary hypertension	Circulation Journal 79(6), 1213-1214, 2015.
88	Naito T	薬剤部	Amlodipine passage into breast milk in lactating women with pregnancy-induced hypertension and its estimation of infant risk for breastfeeding	J Hum Lact 31: 301-306, 2015
89	Naito T	薬剤部	ABCB1 genetic variant and its associated tacrolimus pharmacokinetics affect renal function in patients with rheumatoid arthritis	Clin Chim Acta 445: 79-84, 2015
90	Ishida T	薬剤部	Simultaneous determination of erlotinib and its isomeric major metabolites in human plasma using isocratic liquid chromatography-tandem mass spectrometry and its clinical application	Biomed Chromatogr 29: 643-646, 2015
91	Yamada T	薬剤部	Saturated metabolism of voriconazole N-oxidation resulting in nonlinearity of pharmacokinetics of voriconazole at clinical doses	Biol Pharm Bull 38: 1496-1503, 2015.
92	Naito T	薬剤部	CYP3A activity based on plasma 4 β -hydroxycholesterol during the early postpartum period has an effect on the plasma disposition of amlodipine	Drug Metab Pharmacokin 30: 419-424, 2015
93	Inui N	臨床薬理学	Effects of indacaterol versus tiotropium on respiratory mechanics assessed by the forced oscillation technique in patients with chronic obstructive pulmonary disease	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis, 10:1139-1146, 2015

94	Hakamata A	臨床薬理学	Pharmacokinetic and pharmacodynamic comparison of sildenafil-bosentan and sildenafil-ambrisentan combination therapies for pulmonary hypertension	Clin Transl Sci. 9(1):29-35, 2016.
95	Wei J	臨床薬理学	Nicorandil stimulates a Na ⁺ /Ca ²⁺ exchanger by activating guanylate cyclase in guinea pig cardiac myocytes	Pflugers Arch, 2015. 2016 Apr;468(4):693-703. doi: 10.1007/s00424-015-1763-8. Epub 2015 Dec 3.
96	Karayama M	臨床腫瘍学	Changes in cross-sectional area of pulmonary vessels on chest computed tomography after chemotherapy in patients with advanced non-squamous non-small-cell lung cancer.	Cancer Chemother Pharmacol 2016 May;77(5):1011-8. doi: 10.1007/s00280-016-3017-7. Epub 2016 Mar 31.
97	Karayama M	臨床腫瘍学	Maintenance therapy with pemetrexed and bevacizumab versus pemetrexed monotherapy after induction therapy with carboplatin, pemetrexed, and bevacizumab in patients with advanced non-squamous non-small-cell lung cancer.	Eur J Cancer 2016 May;58:30-7. doi: 10.1016/j.ejca.2016.01.013. Epub 2016 Feb 27.
98	Kotani K	臨床検査医学	Investigation of MDA-LDL (malondialdehyde-modified low-density lipoprotein) as a prognostic marker for coronary artery disease in patients with type 2 diabetes mellitus.	Clin Chim Acta 450:145-50, 2015
99	Saitoh T	救急災害医学	Impact of energy loss index and valvuloarterial impedance in patients with aortic stenosis using three-dimensional echocardiography.	Echocardiography. 32(4):654-9. 2015Apr
100	Hozumi H	救急災害医学	Clinical Implication of Proteinase-3-antineutrophil Cytoplasmic Antibody in Patients with Idiopathic Interstitial Pneumonias.	Lmg. 194(2):23542. 2016.
101	Tsuchiya KJ	子どものこころの発達研究センター	Cohort profile: Hamamatsu Birth Cohort for Mothers and Children (HBC Study)	International Journal of Epidemiology 45, 333-342, 2016. 【小児発達学、疫学】 , [9.176]
102	Takei N	子どものこころの発達研究センター	Identification of neurodevelopmental trajectories in infancy and of risk factors affecting deviant development: a longitudinal birth cohort study.	International Journal of Epidemiology 45, 543-553, 2016. 【小児発達学、疫学】 , [9.176]

計 102

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	西山孝三	第2内科	1日1回内服型dipeptidyl peptidase-4阻害薬から1日2回朝夕内服するビルダグリブチンへの切り替えによる糖尿病改善効果の検討.	Progress in Medicine. 35(9) : 1507-1513, 2015.
2	源馬理恵子	第2内科	初診時に進行した糖尿病網膜症を認めた症例の臨床的背景.	糖尿病58(3) : 192-197, 2015.
3	長山浩士	第2内科	血糖自己測定患者記録と測定器メモリの比較分析及びコンピューター取込データを用いた患者指導治療の有用性.	糖尿病58(11) : 812-817, 2015.

4	則武秀尚	第2内科	肝性浮腫に対するトルバプタンの治療効果に関わる因子の検討	臨床薬理 47: 17-20, 2016.
5	平出拓也	小児科	小児期発症の神経サルコイドーシスが疑われる2例	日小児会誌 119 (7): 1095-1101, 2015
6	小野田貴信	第1外科	完全腹腔鏡下幽門側胃切除術に肥満、性別が及ぼす影響	日鏡外会誌 20 (1) : 53-58 2015G
7	野澤雅之	第1外科	嵌頓鼠径部ヘルニアに対する腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術	日腹部救急医学会誌 35 (7) : 863-867、2015G
8	渡邊貴洋	第1外科	胃十二指腸潰瘍穿孔に対する腹腔鏡下手術後のドレーン挿入に関する検討	日腹部救急医学会誌 35 (5) : 525-528 2015G
9	杉山憲嗣	脳神経外科	視床下核脳深部刺激術後10年後のDBS効果とドパミン反応性の解離	機能的脳神経外科 54: 101-105, 2015
10	坂野友啓	整形外科	成人脊柱変形手術におけるフリーハンド腸骨スクリュー刺入精度の推移 - より高い精度を目指して	J Spine Res 6 (7) : 1206-1210, 2015
11	花田充	整形外科	人工膝関節置換術における脛骨コンポーネント回旋位誤差を生じる要因のナビゲーションを用いた検討	日人工関節誌 45 : 823-824, 2015
12	花田充	整形外科	3例のFemoral condyle irregularityにおける画像的特徴	JOSKAS 40(2) : 426-427, 2015
13	長谷川智彦	整形外科	成人脊柱変形矯正固定手術後に生じたロッド折損の破断面調査	J Spine Res 6(4) : 844-848, 2015
14	星野裕信	整形外科	股関節唇損傷に対する股関節鏡視下手術の適応	日関節誌 34(2) : 113-118, 2015
15	星野裕信	整形外科	AHFIXとAWガラスセラミックスの臼蓋コンポーネントgap fillingの検討	日人工関節誌 45 : 625-626, 2015
16	星野裕信	整形外科	股関節治療における股関節鏡手術の位置づけ-合併症成績不良例からの検討-	JOSKAS 40(2) : 466-467, 2015
17	星野裕信	整形外科	寛骨臼形成不全における寛骨臼と大腿骨頭の曲率と回転中心の差異の検討	Hip Joint 41 : 87-89, 2015
18	星野裕信	整形外科	FAI における関節唇、軟骨損傷の特性	Hip Joint 41 : 24-27, 2015
19	星野裕信	整形外科	寛骨臼形成不全における曲率と回転中心の検討	中部整災誌 58(5) : 1017-1018, 2015

20	小林祥	整形外科	高リスク脊椎手術におけるBr (E)-MsEP解析 ～脊椎脊髄学会モニタリング委員会による多施設研究～	脊髄機能診断学 36 (1) 2015 : 172-176, 2016
21	小林祥	整形外科	思春期特発性側弯症の腰椎カーブに対するDirect Vertebral Rotationの効果	J Spine Res 6(11) : 1614-1617, 2015
22	小山博史	整形外科	単純X線像による臼蓋被覆評価ソフトウェアACX dynamics の開発 骨盤回旋アルゴリズムの導入	Hip Joint 41 : 102-105, 2015
23	小山博史	整形外科	骨盤回旋のX線学的指標に対する骨盤傾斜の影響	Hip Joint 41 : 98-101, 2015
24	小山博史	整形外科	変形性膝関節症における立位矢状面アライメントと患者立脚型膝機能評価の関係	JOSKAS41 : 180-181, 2016
25	小山博史	整形外科	反対側に大腿骨外側骨皮質の骨膜反応がみられたが切迫骨折の画像所見がなかった非定型骨折の一例	骨折 37(4) : 1031-1034, 2015
26	小山博史	整形外科	臥位-立位-座位骨盤傾斜変化に関連する単純X線矢状面の指標	日人工関節誌 45 : 409-410, 2015
27	小山博史	整形外科	人工股関節全置換術前後における変形性股関節症患者の脊椎・骨盤矢状面アライメント	中部整災誌 58(5) : 885-886, 2015
28	紫藤洋二	整形外科	経験と考察 四肢に発生した筋肉内サルコイドーシスの臨床像および画像所見	整形外科 66(11) : 1152-1154, 2015
29	鈴木基裕	整形外科	節リウマチの前足部形成術後の装具療法の簡易化の検討	日足外会誌 36(1) : 180-183, 2015
30	今井篤志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	無愁訴の智歯周囲炎が原因と考えられた反復性細菌性髄膜炎例.	小児耳鼻 36:40-44, 2015.
31	大和谷崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	外耳道癌術後感染に対して有茎頭筋弁が有用であった一例.	耳鼻咽喉科臨床(0032-6313)109巻2号 Page89-94, 2016
32	金山尚裕	産婦人科	近赤外線を用いた新しい母児管理	周産期学シンポジウム抄録集 A 33: 37-41, 2015
33	釣谷大輔	検査部	他製剤とインスリングリジンの作用特性の差異 入院および外来での検討	Diabetes Contemporary 2(2) : 72-73, 2015
34	山影望	検査部	静岡県西部地域におけるHaemophilus influenzaeの疫学解析	日本臨床微生物学雑誌25(4) : 33-38, 2015
35	木村哲朗	手術部	経食道心エコープローブ挿入におけるMcGRSTH [®] MACの有効性の検討	麻酔, 65, 67-74, 2016

36	木村通男	医療情報部	レセプト情報データベースを用いた調査—紹介時同月内異施設同一検査実施状況	医療情報学, 35(5), 213-217, 2015.
37	五十嵐寛	臨床医学教育	学習成果基盤型教育を念頭に置いたクリニカルクラークシップ〜浜松医大麻酔科蘇生科での試み. 第一報 (シミュレーションによる自己主導型学習)	日本シミュレーション医療教育学会雑誌3: 30-35, 2015.
38	伊藤大幸	子どものこころの発達研究センター	保育士の発達評価に基づく就学後の心理社会的不適応の縦断的予測: 保育要録用発達評価尺度の開発	発達心理学研究. 【発達心理学】(0915-9029)27巻1号 Page59-71(2016. 03)
39	伊藤大幸	子どものこころの発達研究センター	一般小中学生における食行動異常の実態とメンタルヘルスおよび社会的不適応との関連	教育心理学研究. 【発達心理学】64(2). 170-183 2016-06
40	片桐正敏	子どものこころの発達研究センター	低学年児童の書字能力と抑うつ, 攻撃性との関係	LD研究, 25. 【発達心理学】(1346-5716)25巻1号 Page49-58(2016. 02)
41	片桐正敏	子どものこころの発達研究センター	一般児童生徒の強迫傾向が後の抑うつ, 攻撃性を予測するか—単一市内コホート調査に基づく縦断的検討—	小児の精神と神経. 2015 【発達心理学】(0559-9040)55巻2号 Page117-126(2015. 07)
42	浜田恵	子どものこころの発達研究センター	小中学生における性別違和感と抑うつ・攻撃性の関連	発達心理学研究. 【発達心理学】(0915-9029)27巻2号 Page137-147(2016. 06)
43	浜田恵	子どものこころの発達研究センター	一般小中学生における日常生活習慣と抑うつ傾向の関連.	小児の精神と神経. 【発達心理学】(0559-9040)56巻1号 Page47-56(2016. 04)
44	村山恭朗	子どものこころの発達研究センター	小学高学年および中学生における反応スタイルの調整効果とストレス生成効果	健康心理学研究. . 【発達心理学】 Journal of Health Psychology Research Vol. 29 (2016) No. 1 p. 1-11
45	村山恭朗	子どものこころの発達研究センター	いじめ加害・被害と内在化/外在化問題との関連性	発達心理学研究, 26, 13-22. 2015 【発達心理学】

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の主な内容・ 倫理委員会の役割・責務等・ 倫理委員会の業務・ 倫理委員会の運営・ 倫理委員会における審査・ 倫理委員会事務局の業務	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none">・ 規定の主な内容・ 利益相反マネジメントの目的・対象・対象者・ 利益相反マネジメント委員会の設置・審議事項・組織・ 利益相反マネジメントのための調査方法・ 審議、勧告、決定等の手続き・ 臨床研究に関する調査等・ 研修・啓発活動	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年4回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年9回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容・ 倫理指針の改訂について	

- 研究計画書のブラッシュアップについて
- モニタリング・監査、記録の保存等について
- 「患者が理解・納得して臨床研究に参加するために」（研究対象者の立場からみた医学系研究）
- 「臨床研究をムダなく成功させるコツ」（研究計画立案の基本から実践まで）

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

①消化器病学会専門医取得プログラム、静岡県内医大関連施設連携による腎臓専門医・透析専門医教育プログラム ②肝胆膵疾患専門医研修ネットワークプログラム ③糖尿病・内分泌・甲状腺専門医取得プログラム、遺伝子診断 ④循環器専門医研修ネットワークプログラム、浜松医科大学循環器ハンズオンセミナー、造血細胞移植認定医取得のための研修 ⑤MondayClub：本学内精神科医、臨床心理士等を対象とした臨床研究講演会、児童精神科連続講座：児童精神科の臨床研究講演会、こどものこころの診療を考える研修会 ⑥胸部外科専門医研修ネットワークプログラム、乳腺外科専門医研修ネットワークプログラム ⑦整形外科専門医教育プログラム、サブスペシャリティー専門コース ⑧皮膚科専門医教育プログラム、遠州皮膚科医会：症例検討・専門領域の講演 ⑨眼科専門医研修プログラム ⑩CT検査におけるヨード造影剤副作用発現時対応訓練 ⑪神経ブロックセミナー（トレーニング）、全身麻酔研修 ⑫集中治療専門医取得研修プログラム ⑬日本消化器画像診断情報研究会、消化器内視鏡に係る各種研修 ⑭東海がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン、東海オンコロジー入門セミナー ⑮JATEC浜松コース：重症外傷に対する初期診療コース ⑯臨床薬理専門医取得研修プログラム ⑰臨床研究に関する各種講習会 ⑱アンガーコントロールトレーニング：講義とワークショップ ⑲周産期（新生児）専門医取得のための各種研修 ⑳気道確保困難症例対策シミュレーションセミナー

2 研修の実績

研修医の人数	46人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
宮嶋 裕明	第一内科	教授	35年	
須田 隆文	第二内科	教授	30年	
林 秀晴	第三内科	教授	40年	
山末 英典	精神科神経科	教授	18年	
緒方 勤	小児科	教授	35年	
椎谷 紀彦	第一外科	教授	32年	
松山 幸弘	第二外科	教授	29年	事務取扱
難波 宏樹	脳神経外科	教授	37年	
松山 幸弘	整形外科	教授	29年	
戸倉 新樹	皮膚科	教授	34年	
大園 誠一郎	泌尿器科	教授	40年	
堀田 喜裕	眼科	教授	33年	
峯田 周幸	耳鼻咽喉科	教授	36年	
松山 幸弘	産科婦人科	教授	29年	事務取扱
阪原 晴海	放射線科	教授	38年	
中島 芳樹	麻酔科蘇生科	教授	29年	
加藤 文度	歯科口腔外科	教授	32年	
美津島 隆	リハビリテーション科	準教授	27年	
深水 秀一	形成外科	準教授	36年	
渡邊 裕司	臨床薬理内科	教授	33年	
前川 真人	検査部	教授	34年	
馬場 聡	病理診断科	準教授	31年	
吉野 篤人	救急部	教授	30年	
木村 通男	医療情報部	教授	30年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p>
<p>・研修の主な内容</p> <p>①(1)MondayClub：臨床研究講演会(2)児童精神科連続講座：児童精神科の臨床研究講演会(3)こどものこころの診療を考える研修会：子どもの診療についての研修会 ② 弾性ストッキング・コンダクター講習会：静脈疾患・リンパ管疾患の講義、予防、使用法、実技指導 ③ (1) C T検査におけるヨード造影剤副作用発現時の対応訓練 (2) 強度変調放射線治療に係る講習会 ④東海がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン東海オンコロジー入門セミナー ⑤感染対策に関する講習会 (1) 部署別 (2) 看護師その他 ⑥ (1) 輸血治療に関する研修：採血・輸血手順、副作用、血液製剤の取り扱い (2) 組織接着剤の調整方法に関する講義 ⑦ (1) 第Ⅱ相、第Ⅲ相治験における有害事象 (2) 治験における情報共有・講習・発表会 ⑧臨床研修の質の向上：品質管理者講習 ⑨ (1) アンガーコントロールトレーニング：講義・ワークショップ (2) 児童精神科連続講座 ⑩看護研修（がん看護（がん化学療法・緩和ケア）、患者急変対応シミュレーション研修、褥瘡予防ケア、在宅看護、透析看護、非侵襲的陽圧換気装着患者の看護）</p>
<p>・研修の期間・実施回数</p> <p>① (1) 毎週月曜日/40回 (2) 2015. 7. 19-20 (3) 2015. 7. 10 ②2015. 12. 12 ③ (1) 2015. 6. 17、7. 22 (2) 2015. 7. 10、2016. 1. 18 ④2015. 7. 26 ⑤ (1) 部署別年5回 (2) 看護師その他年2回 ⑥ (1) 2015. 5. 25-2016. 3. 29 (計12回) (2) 2016. 3. 28 ⑦ (1) 毎週1回 (2) 毎月1回 ⑧年3回 ⑨ (1) 2015. 7. 4-7. 5 (2) 2015. 7. 19-7. 20 ⑩2015. 4. 1-2016. 3. 31 (全11回)</p>
<p>・研修の参加人数</p> <p>① (1) 40～50名 (2) 60～80名 (3) 25名 ②200名 ③ (1) 30名 (2) 6名 ④38名 ⑤ (1) 163名 (2) 56名 ⑥ (1) 164名 (2) 29名 ⑦ (1) 10名 (2) 18名 ⑧50名 ⑨ (1) 70名 (2) 67名 ⑩総計100名</p>
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<p>・研修の主な内容</p> <p>①災害看護</p>
<p>・研修の期間・実施回数</p> <p>①2015. 8. 19、8. 26</p>
<p>・研修の参加人数</p> <p>①49名</p>

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 松山幸弘
管理担当者氏名	総務課長 大森達郎／人事課長 大谷理恵／医事課長 前島耕志 薬剤部長 川上純一／放射線部長 阪原晴海／手術部長 中島芳樹 看護部長 鈴木美恵子／医療機器管理部長 中島芳樹

		保管場所	管理方法		
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事課	全科電子カルテを導入。カルテは、一患者1IDとし、入院及び外来ともに診療情報室において保存管理している。診療録の院外持ち出しは禁止している。	
		各科診療日誌	医事課		
		処方せん	薬剤部		
		手術記録	医事課		
		看護記録	医事課		
		検査所見記録	医事課		
		エックス線写真	放射線部		
		紹介状	医事課		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課		
		高度の医療の提供の実績	医事課		
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課・医事課		
		高度の医療の研修の実績	医事課		
		閲覧実績	総務課		
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部	
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課・医療安全管理室	
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課・医療安全管理室	
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課・医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課・医療安全管理室		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課・感染対策室
	規則第一条の十一	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課・感染対策室
	規則第一条の十一	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課・感染対策室
	規則第二項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課・感染対策室
	規則第一号から第三号までに掲げる事項	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
	規則第一号から第三号までに掲げる事項	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	規則第一号から第三号までに掲げる事項	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	規則第一号から第三号までに掲げる事項	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	規則第一号から第三号までに掲げる事項	医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器管理部
	規則第一号から第三号までに掲げる事項	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
	規則第一号から第三号までに掲げる事項	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部
規則第一号から第三号までに掲げる事項	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医事課・医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課・感染対策室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課・診療情報管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課・診療情報管理部
		医療安全管理部門の設置状況	医事課・医療安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	医事課・医療安全管理室
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医事課・医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課・医療安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課・医療安全管理室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課・医療安全管理室
職員研修の実施状況	医事課・医療安全管理室		
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課・医療安全管理室		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	事務局次長（総務・教育担当）山中 和之	
閲覧担当者氏名	総務課長 大森 達郎	
閲覧の求めに応じる場所	総務課情報公開室	
閲覧の手続の概要		
独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成13年法律第140号）に基づき、国籍、住所、年齢、個人及び法人を問わず、浜松医科大学の保有する法人文書の開示を請求することができる。請求を受理してから、1か月以内（請求の内容によってはそれ以上の日数を要する場合もある。）に開示・不開示等を決定し、請求者に通知する。その後、請求者からの開示の実施申出を受け開示を実施する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： 安全管理に関する基本的な考え方 安全管理体制確保のための委員会組織等 医療事故発生時の対応等 診療科及び中央診療施設ごとに安全管理のためのマニュアルを設置し、適切に対応 患者からの医療の安全に関する相談・苦情等に対応するため患者相談窓口を設置	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none">設置の有無 (有・無)開催状況：年 12 回活動の主な内容： 医療安全管理体制の確保に関すること 医療事故等の把握、分析、対処改善及び評価に関すること 医療安全管理のための職員研修に関すること その他の医療の安全管理に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 20 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 講演会 4 回 (全職員対象) 医療安全管理及び感染対策に係る新任者研修 1 1 回 (中途採用職員対象) 研修医ガイダンス 1 回 (医療事故・安全対策について) 新採用者オリエンテーション 3 回 (事故防止に関すること等) 看護助手研修 1 回	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に関する基本的な考え方2. 院内感染対策に関する管理組織機構3. 職員研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針6. 患者等への情報提供と説明に関する基本方針7. 感染対策に関する地域医療機関との連携8. その他院内感染対策推進のための基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 病棟別検出菌・感染症情報レポートおよびMRSAサーベイランス報告2. ICTラウンド・コンサルテーション報告3. 診療科別抗菌薬使用状況の報告4. 院内手指消毒用アルコール消費量集計	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 25 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">【全職員対象講習会】・ 院内感染対策講習会：3回（異常事態における感染対策、アウトブレイク、B型肝炎など）【職種・部署別研修】・ 新採用看護師研修3回 ・ 研修医2回 ・ 新採用薬剤師・検査技師・臨床工学士各1回 ・ 看護助手1回・ 新採用・中途採用職員（看護職員以外）研修6回 ・ 中途採用看護師1回 ・ 中途採用看護助手6回・ 看護師4回 ・ 部署別勉強会2回【委託業者】・ 栄養部 ・ 清掃業者 ・ 医療事務	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ ICTラウンド（週1回）による感染対策の実施状況および環境整備の確認・ 耐性菌発生状況の把握とアウトブレイク介入基準に基づく介入、および血液培養陽性患者の把握と評価・ 広域抗菌薬および抗MRSA薬使用患者の抗菌薬使用モニタリングと抗菌薬適正使用の評価・ 感染対策に関する介入を要した事例の部署別ミーティングの実施・ 院内Web内の感染対策HP、ICT NEWSなどによる感染情報提供・ 感染対策ポケットマニュアルの配布	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品の安全使用のための注意点（アレルギーカード、輸液フィルターおよび院内事例の紹介）・ 静脈注射の知識および実施に当たり注意すべきポイント・ 処方オーダーの入力方法・ 医薬品の取扱で注意すべきこと	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無・ 業務の主な内容： 実施状況については年1回チェックシートを用いて確認している。
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 薬剤師による処方監査・入院患者への処方確認時に使用目的を確認し、必要に応じて疑義照会および処方確認を実施している。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 51 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 特定高度管理医療機器を中心に、高度管理医療機器、一般医療機器などを含めた院内使用頻度の高い機器を対象に院内医療従事者向けの講習会を51回実施した。勤務時間の都合などで参加不可の職員に配慮して、同一課題の研修会を複数回持つよう留意している。また、参加者からの伝達講習の依頼を行っている。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る計画の策定 (有・無)保守点検の主な内容： 本医療機器管理部の掌握する医療機器の定期点検：1141件、修理：521件、返却時(日常)点検：7897件であった。これら点検は、機器添付マニュアルまたは添付文書に記載される頻度、条件に従い策定される点検計画に従い実施される。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容： 当該機器メーカーからの安全性・回収情報及びPMDA・公的機関からの安全性情報を収集(メールリストに登録済)し、医療機器管理部の院内ホームページにて広報するとともに、当該機器関連部署に文書にて連絡する。また、GRM経由にて院内医療安全委員会へ通達している。当該部署の管理する医療機器にかかわるインシデント・アクシデントに対しては、所定の報告システムにて医療安全管理委員会へ報告し安全委員会の審議を経て改善に努めている。	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>リスクマネジメント担当の副病院長を医療安全管理責任者とし、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none">・情報の整理は薬剤部医薬品情報管理室にてすでに実施している。・情報の周知は添付文書改訂の通知を定期的に、医薬品安全性情報等の通知および当該医師への伝達および DI ニュースの発行などをすでに必要に応じて実施している。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">・未承認薬等による治療が必要になった場合、治療を実施する医師は薬剤部医薬品安全管理室あるいは製剤室に照会する。・病棟などで薬剤師が確認した際は医師に疑義照会などを実施している。・院内製剤は医の倫理委員会および薬剤管理委員会にて承認を受ける。・未承認薬についてはこれまでは、倫理委員会が対応していたが、今後省令改定による設置予定の評価委員会に意見聴取する予定。 <p>・担当者の指名の有無 (有) ・無</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) ・無</p> <p>・規程の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・侵襲の程度が高い診療行為については、文書で十分に説明した上でその同意を文書で取得する。・患者に説明を行う場合には、看護師などの医療者の同席が望ましい。同席者がいた場合には、同席者の氏名を記録する。・説明の相手方として、患者本人に判断能力がある場合は、患者本人に説明し、同意を得る。原	

則として患者の同意を得たうえで家族や家族の中のキーパーソンなどできるだけ複数の人に説明する。

- ・患者本人に判断能力がないと考えられる場合、親権者・未成年後見人等の保護者に対し説明を行い、その同意を得る。父母が婚姻中の場合は両親の総意を確認する。同意書への署名は保護者氏名とする。
- ・診療行為の説明は、説明書・同意書をもとに行う。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有 無

・活動の主な内容：

- ・診療録の搬送、保管・管理、量的・質的監査、閲覧及び貸出しに関すること。
- ・コーディング及び院内がん登録に関すること。
- ・診療録に係る各種統計、開示及びスキニングに関すること。
- ・インフォームド・コンセントに関すること。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有 無

- ・所属職員：専従（ 3 ）名、専任（ ）名、兼任（ 13 ）名
うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 5 ）名
うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
うち看護師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 5 ）名

・活動の主な内容：

- 医療事故及びインシデントの収集、調査、分析に関すること
- 医療事故防止対策の立案及び周知に関すること
- リスクマネージャーとの連絡調整に関すること
- 医療事故防止に係る教育、研修、啓発の立案に関すること

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 無 ）
- ・規程の主な内容：

検討中

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・ 規程の主な内容：

検討中

 - ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
 - ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 監査委員会の設置状況 有・無

- ・ 監査委員会の開催状況：年 回
- ・ 活動の主な内容：

検討中

 - ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）
 - ・ 委員名簿の公表の有無（有・無）
 - ・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）
 - ・ 公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況 ※H28.4～H28.8

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 79 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 32 件
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容
死亡事例ならびに3b以上の事例について検証を行っている。

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ） 無
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ） 無
- ・技術的助言の実施状況
立入り、受入れの方法や内容については、厚生労働省から示されると説明を受けているが、現在のところまだ示されていない。
今後、厚生労働省から示される立入り及び受入れの方法、内容を参考に来年度から行う予定である。

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
医療安全に関する患者相談窓口を設置

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 無）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（ 有 無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 無）

⑭ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況
講演会 4 回（全職員対象）
医療安全管理及び感染対策に係る新任者研修 1 1 回（中途採用職員対象）
研修医ガイダンス 1 回（医療事故・安全対策について）
新採用者オリエンテーション 3 回（事故防止に関すること等）

看護助手研修 1 回

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

国立大学附属病院長会議が実施する研修(今後検討予定)に、平成 29 年度から参加させる予定である。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>公益財団法人 日本医療機能評価機構</p> <p>平成 26 年 3 月 4 日 (火) 5 日 (水)</p> <p>検査部：公益財団法人 日本適合性認定協会 平成 27 年 3 月 16 日 (月) 17 日 (火)</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>(1) 広報誌による情報発信・・・病院案内 (年 1 回)、「はんだ山の風」 (年 4 回)、医療福祉支援センター広報誌「かけはし」 (年 4 回) を発行し、県内・外に配信している。</p> <p>(2) 公開講座による情報発信・・・浜松医科大学、静岡新聞社主催で「浜松医科大学公開講座 (市民講座)」 (H28.4~H29.1 (全 7 回))、浜松医科大学主催「公開講座」 (H28.7 (全 3 回))、浜松医科大学、静岡肝疾患診療連携拠点病院主催で「市民公開講座」 (H28.7 (年 3 回)) を実施している。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p>	

(1) 緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、NSTチーム、感染対策室、医療安全管理室、肝疾患連携相談室等多職種が参加した診療・ケアが実践されている。

(2) 放射線科が乳腺外科合同カンファレンス、心臓MRIカンファレンス、肝・胆・膵合同カンファレンス、脳神経外科カンファレンス及び耳鼻咽喉科カンファレンスと画像診断検討会を実施している。

(様式第8)

浜 医 大 医 第 4 号
平成 2 8 年 9 月 7 日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人浜松医科大学
開設者名 (印)
学長 今野 弘之

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

従来より同様の責任者としてリスクマネジメント担当の副病院長を置いているが、当該副病院長を医療安全管理責任者として配置する規定を制定手続中であり、10月1日から配置予定である。

2 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

医薬品安全管理責任者の活動を充実させるための事項について検討し、10月1日から実施予定である。

3 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

診療情報管理部規程にインフォームドコンセントの責任者を置くことを規定し、診療情報管理部長を充てることとし改正手続中であり、10月1日から配置予定である。

4 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

診療情報管理部規程にインフォームド・コンセントに関することを業務として規定し、3と合わせて改正手続中である。更にインフォームド・コンセントマニュアルの第1版を作成中であり、10月1日から適用予定である。

5 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

診療情報管理部規程に診療録等の記載に関する責任者を置くことを規定し、診療情報管理部長を充てることとし改正手続中であり、10月1日から配置予定である。

6 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

死亡、3b以上の全例の報告等は4月から実施しているが、マニュアルへの記載等ルール化について9月中に完了予定である。

7 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

大学に設置されている公益通報等受付窓口を当該窓口と位置付ける規則を制定手続中で10月1日設置予定である。

8 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

従来より実施している事項もあるが、更に必要な事項があるか検討している。

9 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

平成29年3月末までに設置する予定である。

10 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

9の事項も含めて平成29年3月末までに運用できるよう検討中である。

11 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

平成29年3月末までに設置する予定である。

12 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

11の事項も含めて平成29年3月末までに運用できるよう検討中である。

13 監査委員会を設置するための予定措置

監査委員会の設置規則を10月から適用、運用できるよう制定手続中である。

14 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

立入り、受入れの方法や内容については、厚生労働省から示されると説明を受けているが、現在のところまだ示されていない。
今後、厚生労働省から示される立入り及び受入れの方法、内容を参考に来年度から行う予定である。

15 職員研修を実施するための予定措置

従来実施している医療安全研修に今回見直された事項を加え、平成29年度から実施予定である。

16 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

国立大学附属病院長会議が実施する研修(今後検討予定)に、平成29年度から参加させる予定である。

17 医療安全管理部門の人員体制

- ・所属職員：専従（ 3 ）名、専任（ ）名、兼任（ 13 ）名
- うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 5 ）名
- うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
- うち看護師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 5 ）名

18 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

看護師1名を専従職員として配置済。
5割以上従事する者として、医師、薬剤師各1名は配置済。